

0620

極秘

大正七年八月二日

沿海州派遣第一次輸送部隊船舶輸送計畫

參謀本部

沿海州派遣第一

次輸送部隊
指揮官

船舶輸送計畫目次

第一

綱領

第二

輸送すべき部隊並軍需品

第三

海運地並機關

第四

陸軍運輸部配屬部隊人員及材料

第五

使用船舶

第六

艙裝

第七

炭水補給並船内糧秣搭載

第八

通信

第九

輸送區分

沿海州派遣第一梯團船舶輸送計畫

次輸送部隊

第一 綱領

一、本計畫ハ時局作戰ニ於ケル沿海州派遣第一梯團及之ニ要スル
初度軍需品ノ輸送方法ヲ規定セルモノナリ

二、本計畫ニ基ク輸送實施ハ船舶輸送諸部ノ設置セラレトシ
陸軍運輸部本部長ヲシテ之ヲ擔任セシムルモノトス

三、本計畫ニ基ク船舶輸送實施ニ関シテハ大正四年五月發行ノ
船舶輸送勤務令改正草案ヲ準用スルモノトス

第二 輸送スヘキ部隊並軍需品

四、輸送スヘキ部隊附表第一ノ如シ

五、輸送スヘキ初度軍需品ハ第一梯團ニ要スル約三ヶ月分ノ糧秣
ト若干ノ彈藥並器材トス

陸軍運輸部本部

六、乘船(格載)

宇品 陸軍運輸部本部

門司 陸軍運輸部本部 門司出張所

七、上陸(揚陸)

浦潮 陸軍運輸部本部 臨時浦潮派出所

第四 陸軍運輸部配屬部隊人員及材料

八、陸軍運輸部本部配屬スヘキ部隊、海軍々人及遞信局官

吏人員數及配當區分附表第二ノ如シ

九、陸軍運輸部本部臨時浦潮派出所ニ配屬スヘキ通譯、船子

仲仕及海運補助材料等附表第三、第四ノ如シ

十、各運送船ニハ概ネ左ノ標準ニ據リ船内仲仕ヲ配屬スルモノトス

一千噸級 十五人

二千噸級 二十人

三千噸級 二十五人

四千噸級 三十人

五、小蒸汽船員、船子、仲仕（船内仲仕共）ハ陸軍運輸部本部長
之ヲ雇傭配屬スルモノトス

第五 使用船舶

一、輸送ノ為使用スル船舶ハ約六萬噸トス

二、第一梯團輸送後浦潮内地間ニ一ヶ月約十回ノ割合ヲ以テ交

通船（補充、追送、還送輸送ヲ兼又）四隻ヲ使用ス

右船舶ハ軍隊輸送終了ノ運送船ヲ以テ之ニ充ツ

五、病院船、工作船、碎氷船等ニ就テハ追テ計畫ス

五、運送船ノ機装ハ本品ニ於テ實施スルモノトス

六、機装ノ爲所要船積ノ割合ハ總噸數ニ對シ一人三噸、一馬九噸トス

七、機装材料ハ平時準備品(平時ヨリ準備シアル戰用品)ヲ使用スルモノトス

八、病院船、工作船、碎氷船等ノ機装ニ関シテハ追テ計畫ス

第七 炭水ノ補給並船内糧秣ノ搭載

九、運送船ノ石炭及罐氷補給量ハ最少限航海十日分、同飲料

水ハ搭載人馬ニ對シ約七日分トス

十、船内ニ於ケル人員ノ給養ハ船主ノ請負賄トス同馬糧ハ現品官給トシ一航海五日分ヲ搭載ス

五、軍隊輸送船ハ其就役前宇品ニ於テ概ネ百噸ノ下積糧秣
(船内豫備糧秣ヲ兼ヌ)ヲ搭載スルモノトス該糧秣ハ軍隊上
陸後揚陸シ第十二師團司令部ニ引継クモノトス
五、船内馬糧及下積糧秣ハ宇品糧秣支廠ヨリ受領スルモノ
トス

第八 通信

五、浦潮下内地間ノ通信ハ海軍無線電信、大北會社海底線
及元山、京城經由日露連絡陸線ニ依ル
五、運送船ノ發着、搭載、揚陸作業ノ景況等ハ各海運地
ヨリ直接參謀本部ニ電報スルモノトス

第九 輸送區分

五、軍隊ノ乘船上陸日次豫定附表第五ノ如シ

0627

訂書附表第六号

附表第二

沿海州派遣第一 改輸送部隊 林團

第十二師團司令部

步兵第三十五旅團

騎兵第十二聯隊

野砲兵第十三聯隊

獨立野戰重砲兵大隊

工兵第十二大隊

第十三師團電話隊

第十三師團衛生隊

(担架隊)

第一航空隊

第一鐵道隊

第十二師團野戰病院

第十三師團輜重監視隊

第十師團陸上輸卒隊

第一薪炭採集部

第一臨時測圖部

8290

(114)
(618)

— 三 — 四 —

附表第二

陸軍運輸部本部配屬部隊及人員配當區分表		名	稱	員	數	宇	品	門	司	浦	潮
		陸上輸	卒隊	三	隊	一	隊	一	隊	一	隊
		海軍將	校	三		一		一			一
		海軍下	士卒	一	七						
		遞信局	技師	四		二		一			一
		遞信局	技手	六		二		二			二

附表第三

陸軍運輸部本部臨時浦潮派出張所ニ配屬スヘキ人員

英語通譯

一

露語通譯

一

支那語通譯

一

舩

子

四〇

仲

仕

三〇

附表第四


陸軍運輸部本部臨時浦潮派出所用海運補助材料表

品目	員數	品目	員數
小形小蒸汽船 (船員共)	三隻	傳聲筒	一〇個
團平	四隻	双眼鏡	四個
馬船	八隻	雨覆	二五枚
水船	四隻	方錐形天幕	八張
歩板	三〇枚	屋形天幕	五張
標識	五組	通信器材	甲破泊場用 一組
不明	五組	購兩計	
信號燈	二組	寒暑計	
信號旗	二組	消毒器具	四組
		水槽	五個

備考

- 一、本表ノ員數ハ所要ニ應シ多少増減スルコトアリ
- 二、本表材料ハ其使用ヲ顧慮シ軍隊輸送船ニ分載シテ上陸地ニ輸送スルモノトス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="528 465 1018 730"><tr><td data-bbox="528 465 772 730">1</td><td data-bbox="772 465 1018 730">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため		
<p data-bbox="272 1182 1318 1346">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="363 1496 927 1576">9 年 2 月 10 日</p> <p data-bbox="533 1697 831 1760">主務者又は</p> <p data-bbox="528 1832 1422 1939">撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

附表第五

沿九州派遣 第次編送部隊

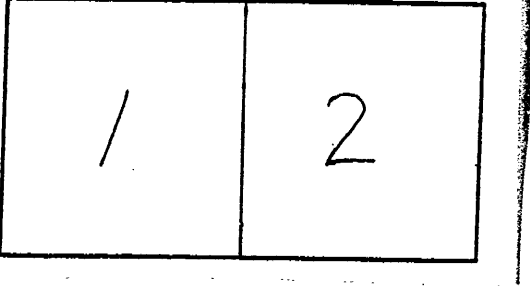

乘船上陸日次豫定表

上陸地

部隊	人員	馬匹	總噸數	乘船地	乘船日次	上陸日次	備考
陸軍運輸部本部	六	八四	二七九				
第十二師團設營隊	二〇	一四〇	四八〇		第五日	第八日	
第十二師團司令部	師團長及幕僚	其他若干	一二〇		乃 至 乃 至		
步兵第三旅團司令部	三	一三	一三〇		第七日	第十日	
步兵第十四聯隊	八五	三六三	二六〇		第七日	第十日	
計	二四	三八六	二六九				
步兵第二十四聯隊	八五	三六三	二六〇		第八日	第十日	
計	一	三三〇	九七二				
第十二師團司令部	六	一五九	一五〇		第十日	第十四日	
野戰電信第十八中隊	七	三三五	七八		第七日	第十四日	
計	三	一一六	二二				
野戰電信第七陸上輸卒隊	一	三二〇	九七二		第七日	第十四日	
第一鐵道隊	一五	二六二	九三九		第十日	第十四日	
工兵第十二大隊	一四	五一九	六五		第十二日	第十五日	
野砲兵第十二聯隊第一大隊	一六	三四九	二九四		第十二日	第十五日	
計	五六	一九〇	四七二				
第十師團第八陸上輸卒隊	一	三三〇	九七二		第十三日	第十六日	
野砲兵第十二聯隊本部	三	二四	一六		第十三日	第十六日	
野砲兵第十二聯隊第三中隊	五	一三四	一一五		第十三日	第十六日	
同 聯隊段列	六	二八四	二五九		第十三日	第十六日	
第十二師團司令部	六	四一四	二九一		第十三日	第十六日	
獨立野砲重砲兵大隊	一五	五九〇	四九〇		第十六日	第二十日	
第十二師團衛生隊(重砲中隊)	二	四九八	九三		第十六日	第二十日	
第十二師團野戰病院	一三	二一〇	六七		第十六日	第二十日	
計	一三八	二四七四	三三三				
野砲兵第十二聯隊(重砲)	一九	三五二	三三八		第十七日	第二十日	
野砲兵第十二聯隊第二大隊	二	四八三	四〇九		第十七日	第二十日	
野砲兵第十二聯隊第三大隊	四	二〇八	四〇		第十八日	第二十日	
計	四四	一〇四二	七八七				
第一無線電信隊	六	一四三	八四		第十五日	第十九日	
第一航空隊	一〇	一六九	五七		第十五日	第十九日	
第一臨時測圖部	二	九二	二		第十五日	第十九日	
第一補給採集部	六	一一	五		第十五日	第十九日	
計	四三	四一五	一四三				

備考												
一 乗船上陸日次ハ動員日次ヲ以テ示ス												
二 指定乗船上陸日次ハ船舶ノ集合景況ニ依リ多ク変更スルコトアリ												
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
第十師團第八陸上輸率隊	對砲兵第十二聯隊本部	對砲兵第十三聯隊本部	對砲兵第十三聯隊第三中隊	同 聯隊段列	第十二師團司令部	獨立對戰重砲兵大隊	第十三師團衛生隊(聖中隊欠)	第十三師團野戰病院一	計	附兵第十三聯隊(重隊欠)	對砲兵第十三聯隊第二大隊	第十三師團衛生隊(輕重監視隊)
一四	一六	一六	五二	六	六	一五	二二	一三	一三	二二	二二	四
五一	三四	三四	一三四	二六	四一	五九	四九	二一	二四	四八	四八	二〇
六	二九	二九	一一五	二五	二九	四九	九三	六七	一	四〇	四〇	四〇
二一八	三七	三七	一〇一	三〇	四〇	六二	二四〇	二七	九七	五九	五九	一〇九
品 宇												
第 司												
第十三日 第十五日												
第十三日 第十六日												
乃至 乃至												
第十六日 第二十日												
第十三師團司令部 先發者ヲ以テ 除ク												

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>9 年 2 月 10 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

初期追送軍需品輸送計畫表

大正七年八月五日改訂

品目	数量	噸數	積載地	積載員數	積載場所	積載日次
珠	430 (團分)	1070				
炭	215 (團分)	420				
幕	130 (個)	147	宇			
覆	280 (個)	26				
具	276 (組)	20				

浦

第五師團司令部

炊	器具	450			
瀝	水器	69			
沸	水器	28			
採	薪器	2			
唇	器	5			
被	服	12			
彈	藥	20			
穿	井器	30			
麻	繩	50			
動物用	琉球衣	1500 (枚)			

計	沐浴	800			
戰	戰傷兵救護用品	600			
戰	戰傷兵救護用品	55			
電	話材料	20			
衛	生材料	47			
水	上	17			
被	服	20			

被	服	20			
計	林	1000			

日九十月八

日五十二月二

氷上蹄鉄
各海軍

0634

0636

0635

0634

<p>計 五〇〇圓 一五〇〇枚 二一七二</p>	<p>✓ 襪 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>✓ 電話材料 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>衛生材料 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>歌書材料及 水上端鉄 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>被服 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>計 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>薪 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>糧 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>備 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>	<p>考 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分 陸軍定製靴以二三〇個圖分</p>
--------------------------------------	--	---	---	---	---	--	--	--	--	--

陸軍定製靴以二三〇個圖分
陸軍定製靴以二三〇個圖分
陸軍定製靴以二三〇個圖分
陸軍定製靴以二三〇個圖分

0636

水上端鉄
陸軍定製靴以二三〇個圖分
陸軍定製靴以二三〇個圖分
陸軍定製靴以二三〇個圖分
陸軍定製靴以二三〇個圖分